明るすぎる月

仲村渠

青空文庫

——悪いことがなければよいが

電柱のとつさき、工夫が云ふ
ふん　今夜は誰も苦情は云ふまいて。十分そこらの停電はな。

窓ぎは。若い薬剤師が云ふ
やあ！　まるで砂でも調合してるやうだよ。
この匙でね。

夜店。植木屋が云ふ
瓦斯を消しちまひな。もつたいない、そのかはり水をうんとやつておゝき。

解剖室。死体が云ふ
あんちきしよ　窓のカアテン引いとくのを忘れやがつて。
くそ！　おれは明るいと風邪をひく。

製図室。半分出来た製図が云ふ
おいおいみんな　今夜はうちの主人をおどかしてやらうぞ。ちびの主人が帰つて来ぬうちにさあ。一二三！真白くなつておかうぞ。

温室。こまちやくれた花が云ふ
あたい今晩だけは夜露に打たれてみたいと思ふわ。

鏡屋。いつぱい並んだ鏡が云ふ
けツ！　鏡鏡鏡鏡どうしの睨めツこか。

ああ　娘の頬ぺた。紅い椿が食べたいよ。

活動写真館。映写幕（スクリーン）が云ふ
見物ひとり居ないのに　横ッ腹の窓から映つたりしやがつて。
それにちつとも面白くないやい！

洋服屋の飾窓。臘人形が云ふ

あらあらあら。あたいの躯がこんなに透いちやつて。
まあ花入り硝子！あたいの心臓。

玩具屋のガラス棚。ゴム人形が云ふ
僕嫌だい。空気なんか詰められるのはもう嫌だい。
よう　お日さまの光が吸ひたいよう。

自動車陳列窓。青塗りのフオードが云ふ
諸君つくづく俺は後悔するんである。一匹の黄金虫に生れなかつたことを。空を翔べなくとも
　だ、ああ今夜の街上に逃げられたら！

ガソリン供給箱（ボックス）。赤い喞筒が云ふ
あああああ
ガソリンは俺いたぞ俺いたぞ。

硝子製造所の高窓。長い硝子管が云ふ
チリリーン　おお　月の光が身に沁むて。起きろい！　フラスコ　カツプ　花瓶も起きろ。

チアリリーン　月に浮かれて躍らうよ。

僕。ちつぽけなそいつが云ふ
いやだい　はづかしい。
よせよ　よせよ　恥しいつたら！
あッさうかい。そこで僕がお月さまから電柱を盾に取つて失敬したら、をつとこさ元気のよい
噴水。

青空文庫情報

底本：「沖縄文学全集　第1巻　詩※［#ローマ数字1、1-13-21］」　国書刊行会
　　1991（平成3）年6月6日第1刷
入力：坂本真一
校正：良本典代
2017年3月11日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

明るすぎる月

仲村渠

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/